

このコーナーは、町内で行われたイベントや活動、町民の皆さんの身近で起きたちょっとした出来事など、1カ月のまちの話題を紹介するページです。



5月31日、糸魚沢にある町民の森で『町民の森造成植樹祭』が行われま

## 10年かけて町民の森が完成

した。

この植樹祭は、活力ある森づくりと、別寒辺牛川流域の環境保全を図るため、平成12年から毎年行われ、今年で10回目の節目を迎え、『町民の森』がようやく完成しました。

## 大黒島の自然に感動 海鳥繁殖地観察会

6月6日、海鳥の宝庫として国の天然記念物に指定されている大黒島で『海鳥繁殖地観察会』が開催されました。

大黒島は周囲約6kmの無人島で、コジロウミツバメやオオセグロカモメなど約180万羽が生息し、昭和26年に島の南西部が海鳥の繁殖地として国の天然記念物に指定され、以来、立ち入りが制限されてきました。

この日は、町内外から15人が参加し、海事記念館学芸員の解説を聞きながら、島の動植物や地層などを観察しました。

昨年、悪天候により行くことができなかったトッカリ岩周辺には、ゼニガタアザラシの親子などが群れており、貴重な自然を間近で感じることができました。

めったに訪れることができない大黒島を堪能した後は、小島で昼食をとり帰港しました。



## 日ごろの考えを訴えた 少年の主張大会

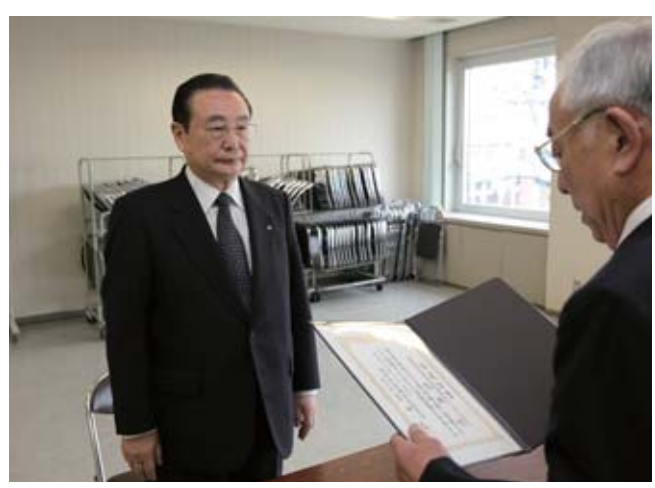
5月30日、真龍小学校で『少年の主張大会』が行われ、町内の中学校5校から参加した7人が、家庭や学校での体験を通して、日ごろ考えている意見や思いを発表しました。

審査の結果、『二人ひとりができること』と題して、障がい者への接し方を訴えた厚岸中学校2年生の西谷内成美さんが、最優秀賞に輝きました。

## 若狭靖町長が無投票で3選

任期満了に伴う厚岸町長選挙が6月9日に告示されましたが、現職の

若狭靖町長以外に立候補の届け出はなく、無投票で3選目を果たしました。



無投票での当選は、前回に続き2期連続となります。

若狭靖町長は、2期8年で培った経験をもとに、これからの4年間で『もっと元氣なあつけしへ』を前面に打ち出し『誰もが住みよい、住みたくなる、来たくなるまちづくり』を実現するため、8項目の公約を掲げました。

また、6月15日には厚岸町役場において、厚岸町選挙管理委員会(吉田茂委員長)から当選証書が付与されました。

3期目の任期は、平成21年7月13日から平成25年7月12日までの4年間となります。

## 総合的な学習で 駅前花壇を整備

6月12日、厚岸小学校(佐藤正幸校長)の6年生28人がボランティアサークル『この指とまれ』(堤美津子会長)の協力を受け、ボランティア活動として厚岸駅前花壇の花植えを行いました。

この花壇整備は、総合的な学習の時間を活用して行われたもので、色とりどりの花で駅前を飾りました。



## あやめが順調に育つよう 中高生が保護育成活動

町花の『ヒオウギアヤメ』を守るため、『あやめヶ原』で雑草駆除などの保護育成活動が行われました。

6月9日に厚岸中学校(中村光伸校長)の2年生40人、6月16日には厚岸潮見高校(駒木貞校長)の2、3年生105人によって行われ、ヒオウギアヤメの株周辺の雑草を丹念に取り除く作業に取り組みました。

はじめに、アヤメの育成を阻害するバイケイソウやハンノキの雑草を抜き取る際の注意を受けた後、生徒たちはグループに分かれ、100鉢に及ぶあやめヶ原に散らばって作業を行いました。

なお潮見高校では、昨年までは2年生の総合学習の一環として行っていました。来年度の閉校を前に、全校生徒で作業を行いました。

## 最後はジャンケン 町民ソフトボール大会

6月7日、宮園運動公園野球広場で第56回厚岸町ソフトボール大会が開催され、地域や職場単位で参加した16チーム約200人が熱戦を繰り広げました。この大会は町技であるソフトボールを通じて、スポーツに対する理解と関心を深め、健康な心身を養うことを目的としています。

試合はトーナメント方式で行われましたが、大会開始時より雨が降り始め、第4試合の一つと、決勝戦および3位決定戦の3試合は、雨あしが激しくなり、試合を続けることが不可能となりました。

勝敗については、各チームから3人選出しジャンケンで勝敗を決定しました。

試合の結果は、次のとおりです。

- ▼一般男子の部
- 優勝=清水Japan
- 準優勝=湾月A
- 第3位=王者 浜野水産

